

第2期

まち・ひと・しごと創生事業

実績評価シート

伊 東 市

まち・ひと・しごと創生の施策・事業等の指標一覧

1 基本目標

No.	目標・施策・事業名	指標・KPI名	担当部課
1	1 安全・安心な暮らしを守る	発災時の人的被害者数	危機管理部 危機対策課
2	2 安定した雇用を創出する	有効求人倍率	観光経済部 産業課
3	3 新しいひとの流れをつくる	社会増減数(転入者数－転出者数)	企画部 企画課
4		年間来遊客数	観光経済部 観光課
5	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	合計特殊出生率	健康福祉部 子育て支援課
6		待機児童数	教育部 幼児教育課
7	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する	健康寿命(お達者度)	健康福祉部 健康推進課

まち・ひと・しごと創生の施策・事業等の指標一覧

2 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標(KPI)

(1) 安全・安心な暮らしを守る

No.	目標・施策・事業名	指標・KPI名	担当部課
8	1① 危機管理体制の充実	発災時の人的被害者数	危機管理部 危機対策課
9	1② 防災意識の向上	防災研修等及び防災訓練の参加者数	
10	1③ 消防団員の確保・活性化対策の推進	消防団員充足率	
11	1④ 防犯、交通安全の意識啓発	市内における刑法犯認知件数	
12		市内における人身交通事故発生件数	
13	1⑤ 公共施設の適正な維持管理	公共施設の廃止又は除却の件数	総務部 財政課
14	1⑥ 安全な水の安定供給	(水道)料金値上げ	上下水道部 水道課
15		(水道)有収率	
16		重要給水施設の耐震化率	
17-1	1⑦ 生活排水対策の充実	下水道管きよの長寿命化実施率	上下水道部 下水道課
17-2		マンホールトイレの累積設置箇所数	
18		下水道処理施設の長寿命化及び耐震化の進捗率 (水処理棟6池)	
19		水洗化率	
20	1⑧ 道路施設の長寿命化	舗装改良路線数	建設部 建設課
21	1⑨ 橋りょうの長寿命化	修繕橋りょう数	

まち・ひと・しごと創生の施策・事業等の指標一覧

(2) 安定した雇用を創出する

No.	目標・施策・事業名	指標・KPI名	担当部課
22	2① 農業の担い手の育成・確保	新規就農者数	観光経済部 産業課
23	2② 地産地消の推進	飲食店における地魚取扱店舗数	
24		6次産業化推進事業費補助金を利用した農業者数	
25	2③ 安定した漁業の推進	水揚数量	
26	2④ 地域の商業活性化	ブランド品目創出数	
27	2⑤ 商工業への支援体制強化	参加店舗の平均売上増加率	
28	2⑥ 起業の促進	新規創業件数	
29	2⑦ 本市の特性に合った企業誘致	新規企業立地件数	企画部 企画課
30	2⑧ 介護資格者の育成	基準緩和型サービス従事者研修受講者のうち、介護保険事業所に採用された人数	健康福祉部 高齢者福祉課
31	2⑨ 男女共同参画の推進	男女共同参画社会づくり宣言事業所数	市民部 市民課
32		市役所における指導的地位(係長相当職以上)に占める女性の割合	企画部 秘書課
33		公的な会議等の場における女性の割合	市民部 市民課
34		2⑩ 障がい者雇用の促進	市内企業の障がい者雇用率

まち・ひと・しごと創生の施策・事業等の指標一覧

(3) 新しいひとの流れをつくる

No.	目標・施策・事業名	指標・KPI名	担当部課
35	3① 移住定住の促進・関係人口の拡大	移住者数(静岡県調査による。)	企画部 企画課
36		移住相談件数	
37		ふるさと納税の寄附件数	
38	3② 交流人口の拡大	外国人観光客の宿泊者数	観光経済部 観光課
39		観光案内所での外国人対応人数	
40		外国人対応ができる従業員又は翻訳機を配備している宿泊施設数の割合	
41		観光客の満足度	
42		県内観光客の割合	
43		伊豆・伊東観光ガイドのPV数	
44		公式インスタグラムフォロワー数	
45		温泉地ランキングの順位	
46		伊東での滞在日数(2泊以上の割合)	
47		日帰り客1人当たりの市内での総消費額	
48		宿泊客1人当たりの市内での総消費額	
49	再来遊意欲のある人の割合		
50	3③ 地域の商業活性化	にぎわいづくり事業等の利用団体数	観光経済部 産業課

まち・ひと・しごと創生の施策・事業等の指標一覧

(4) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

No.	目標・施策・事業名	指標・KPI名	担当部課
51	4① 子育て世帯の経済的支援の推進	出産・子育て支援に関する満足度	健康福祉部 子育て支援課
52	4② 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり	妊娠出産包括支援事業利用者数(延人数)	
53		乳幼児健康診査受診率	
54	4③ 妊娠・出産のための健康づくりと正しい知識の普及	正しい知識についての普及率	
55	4④ ひとり親家庭等の自立促進	ひとり親家庭等の相談割合	
56	4⑤ 子育てにおける相互援助活動の推進	ファミリー・サポート・センター登録会員数	
57	4⑥ 子どもの居場所の場の提供	児童館年間利用者割合	
58		子ども食堂実施箇所数	
59	4⑦ 保育・幼稚園教育の充実	待機児童数	教育部 幼児教育課
60		多様な保育への満足度	
61		園での生活に満足している保護者の割合	
62		子育て支援への満足度	
63		保育園及び幼稚園のあり方の策定	
64	4⑧ 学校における教育環境の整備	児童生徒1人当たりの教育用コンピュータ数	教育部 教育総務課
65	4⑨ 個に応じた教育的支援の充実	学校が楽しいと思う子どもの割合	教育部 教育指導課
66	4⑩ 地区青少年健全育成活動の活発化	小・中・高生1人当たりの地域学校協働活動への参加回数	教育部 生涯学習課
67		善行賞の被表彰者数	
68	4⑪ 地域における居場所づくりの推進	放課後子ども教室への参加延べ人数	

まち・ひと・しごと創生の施策・事業等の指標一覧

(5) 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する

No.	目標・施策・事業名	指標・KPI名	担当部課
69	5① 健康づくりの推進	全ての死因における対県比標準化死亡比	健康福祉部 健康推進課
70		歯科衛生教育年間延べ実施者数	
71		伊東市民病院紹介率・逆紹介率	
72		元気な高齢者の割合	健康福祉部 高齢者福祉課
73		生活支援サポーターの養成者数	
74		地域ケア会議の開催回数	
75		医療・介護関係の多職種が合同で参加する研修会等の開催回数	
76	5② 生涯学習活動の推進	市民1人当たりの生涯学習活動の参加回数	教育部 生涯学習課
77		中央会館・ひぐらし会館に登録している団体数	
78		市民1人当たりの図書貸出冊数	
79		図書館におけるイベント・企画展実施数	
80		図書館における蔵書数	
81		図書館を利用している人の割合	
82	5③ 市民スポーツ活動の推進	体育協会加盟団体数	
83		スポーツ推進委員数	
84		スポーツ教室参加延べ人数	
85	5④ 歴史・芸術文化の振興	指定文化財整備及び保護件数	
86		歴史、芸術文化に関するイベントの来場者数及び施設入場者数の合計	
87		文化協会加盟団体数	
88	5⑤ 国際交流の推進	国際交流に関する体験や行事に参加した割合	企画部 秘書課
89		日本語教室受講者数	
90	5⑥ 地域活動・市民活動への支援	まちづくり事業又は文化振興事業実施団体数	企画部 秘書課・企画課

No.1 _____

基本目標	1 安全・安心な暮らしを守る
------	----------------

数値目標	発災時の人的被害者数	指標担当部課	危機管理部 危機対策課
------	------------	--------	-------------

設定根拠	災害対策において、最優先すべきは、人命保護であると考えため指標として設定した。 そのため、人的災害者数0人を毎年度重ねていくことを目標値としている。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		6 人	令和元年度	0	0	0	0			0
実績値										

実績値の計算方法	年度内に発生した自然災害による死傷者数の合算値									
----------	-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価	評価の理由									
----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.2

基本目標	2 安定した雇用を創出する									
数値目標	有効求人倍率					指標担当部課		観光経済部 産業課		
設定根拠	雇用創出を測る指標として、ハローワークが発表し容易に入手しやすい有効求人倍率を採用した。 一の求職に対し、一以上の求人があるという指数の維持を目標とした。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
1.22 倍		令和元年度	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00 倍以上		令和7年度
実績値										
実績値の計算方法	ハローワーク提供資料									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.3 _____

基本目標	3 新しいひとの流れをつくる									
数値目標	社会増減数(転入者数－転出者数)					指標担当部課		企画部 企画課		
設定根拠	国立社会保障人口問題研究所によれば、2060年の本市の人口は約29,000人と推計されている。人口減少に歯止めをかけるため、合計特殊出生率について現状の1.33から2025年に1.36を達成し、以後は維持するとともに、社会増減数については、毎年200人の転入超過を目指すことにより、2060年の本市の人口を36,600人程度確保することを目指しているため									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
94 人		令和元年	200	200	200	200	200	200 人		令和7年
実績値										
実績値の計算方法	人口動態(各年12月31日現在)調査における、各年の社会増減数									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.4 _____

基本目標	3 新しいひとの流れをつくる		
------	----------------	--	--

数値目標	年間来遊客数	指標担当部課	観光経済部 観光課
------	--------	--------	-----------

設定根拠	本市への年間来遊客数については、平成29年度665万人、平成30年度656万人、令和元年度662万人と660万人前後を推移している。本指標については社会情勢に大きく影響を受けるものであるが、第3次観光基本計画においても令和5年度の目標値として720万人達成を設定していることから、同様の指標を用いて計画の進捗を管理していくことが適切だと考えるため		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度					目標値	(単位)	目標年度
		R3	R4	R5	R6	R7			
662 万人		令和元年度	700	710	720	725	730	730 万人	令和7年度
実績値									

実績値の計算方法	入湯客数をもとに算出した宿泊客数及び切符乗車による鉄道の利用者や定点観測による自動車の通過台数等に一定の率を掛けて算出している日帰客数を合わせた市独自の数値		
----------	--	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.5 _____

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる									
------	---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

数値目標	合計特殊出生率					指標担当部課	健康福祉部 子育て支援課				
------	---------	--	--	--	--	--------	--------------	--	--	--	--

設定根拠	1人の女性が生涯に生むと見込まれる子どもの数。その年の15歳から49歳までの女性が産んだ子どもの数を元に算出する。人口を維持できる水準は2.07とされ、将来の人口が増えるか減るかをみる指標となるため									
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

従前値	(単位)	基準年度					目標値	(単位)	目標年度	
		R3	R4	R5	R6	R7			令和7年度	
1.33 人		令和元年度	1.34	1.34	1.35	1.35	1.36	1.36 人	令和7年度	
実績値										

実績値の計算方法	15～49歳の女性の年齢別出生率を合計したもの									
----------	-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価		評価の理由								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.6

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる									
数値目標	待機児童数					指標担当部課	教育部 幼児教育課			
設定根拠	就労しながら安心して子育てができる環境を示す値として、待機児童数の削減が最も適すると思われるため令和4年度以降は0人にすることを目標とした。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
5人		令和2年度	2	0	0	0	0	0人		令和7年度
実績値										
実績値の計算方法	各年度4月1日現在の保育所待機児童数									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.7

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
------	---------------------------

数値目標	健康寿命(お達者度)	指標担当部課	健康福祉部 健康推進課
------	------------	--------	-------------

設定根拠	超高齢社会の中で、65歳から介護や支援を受けず健康に過ごせる年数(お達者度)を指標とし、市民に生活習慣の改善を浸透させ、健康寿命の延伸につなげるため。市の総合計画の最終計画年度(令和7年度)及び途中年度において、静岡県過去の公表資料を基に推計した将来予測値を設定した。		
------	--	--	--

従前値	(単位)	基準年度					目標値	(単位)	目標年度	
		R3	R4	R5	R6	R7				
男性17.48 女性20.30	年	平成28年	男性18.08 女性20.84	男性18.22 女性20.93	男性18.37 女性21.01	男性18.51 女性21.10	男性18.65 女性21.19	男性18.65 女性21.19	年	令和7年
実績値										

実績値の計算方法	65歳から元気で自立して暮らせる期間を算出。県内市町の介護認定の情報、死亡の情報をもとに静岡県が公表する。		
----------	---	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.8

基本目標	1 安全・安心な暮らしを守る
具体的な施策	① 危機管理体制の充実

KPI	発災時の人的被害者数	指標担当部課	危機管理部 危機対策課
-----	------------	--------	-------------

設定根拠	災害対策において、最優先すべきは、人命保護であると考えため指標として設定した。 そのため、人的災害者数0人を毎年度重ねていくことを目標値としている。		
------	---	--	--

従前値	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
6 人	令和元年度	0	0	0	0	0	0 人		令和7年度
実績値									

実績値の計算方法	年度内に発生した自然災害による死傷者数の合算値
----------	-------------------------

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.9

基本目標	1 安全・安心な暮らしを守る
具体的な施策	② 防災意識の向上

KPI	防災研修等及び防災訓練の参加者数	指標担当部課	危機管理部 危機対策課
-----	------------------	--------	-------------

設定根拠	防災研修等及び防災訓練の参加者数を検証することにより、防災意識の浸透度合いが図れるため指標として設定した。そのため、参加者数を毎年度1,000人ずつ増加させ浸透度を高めていくことを目標値としている。		
------	---	--	--

従前値	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
24,833 人	令和元年度	26,800	27,800	28,800	29,800	30,800	30,800 人		令和7年度
実績値									

実績値の計算方法	防災研修等及び防災訓練の参加者数の合算値		
----------	----------------------	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.10

基本目標	1 安全・安心な暮らしを守る
具体的な施策	③ 消防団員の確保・活性化対策の推進

KPI	消防団員充足率	指標担当部課	危機管理部 危機対策課
-----	---------	--------	-------------

設定根拠	消防団員の充足率を検証することで、消防団員の確保状況の把握が可能なため指標として設定した。 そのため、毎年度、条例定数と同数の消防団員を確保していくことを目標としている。		
------	--	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		99.2 %	令和2年度	100	100	100	100			100
実績値										

実績値の計算方法	条例定数506人を100%に換算。定数506人を分母、年度ごとの消防団員実数を分子として算出									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価		評価の理由								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.11

基本目標	1 安全・安心な暮らしを守る
具体的な施策	④ 防犯、交通安全の意識啓発

KPI	市内における刑法犯認知件数	指標担当部課	危機管理部 危機対策課
-----	---------------	--------	-------------

設定根拠	市民の防犯対策に対する意識向上が、刑法犯の認知件数減少につながると考えられるため指標として設定した。そのため、近年の刑法犯認知件数減少率を参考とし、各年度3%程度減少させていくことを目標値としている。		
------	--	--	--

従前値	(単位)	基準年度					目標値	(単位)	目標年度
		R3	R4	R5	R6	R7			
324 件		令和元年	310	300	290	280	270	270 件	令和7年
実績値									

実績値の計算方法	市内における刑法犯認知件数(暦年)								
----------	-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

評価		評価の理由							
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--

課題									
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.12

基本目標	1 安全・安心な暮らしを守る
具体的な施策	④ 防犯、交通安全の意識啓発

KPI	市内における人身交通事故発生件数	指標担当部課	危機管理部 危機対策課
-----	------------------	--------	-------------

設定根拠	市民の交通安全に対する意識向上が、人身交通事故の発生件数減少につながると考えられるため指標として設定した。そのため、近年の人身交通事故発生件数減少率を参考とし、各年度5.3%程度減少させていくことを目標値としている。		
------	--	--	--

従前値	(単位)	基準年度					目標値	(単位)	目標年度
		R3	R4	R5	R6	R7			
367 件		令和元年	330	310	290	275	260	260 件	令和7年
実績値									

実績値の計算方法	市内における人身交通事故発生件数(暦年)								
----------	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

評価		評価の理由							
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--

課題									
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.13

基本目標	1 安全・安心な暮らしを守る
具体的な施策	⑤ 公共施設の適正な維持管理

KPI	公共施設の廃止又は除却の件数	指標担当部課	総務部 財政課
-----	----------------	--------	---------

設定根拠	伊東市公共施設等総合管理計画に沿った公共施設の維持管理を進めていくに当たり、老朽化や利用実態等により除却することが適当であると判断される施設を有しているため、公共施設の適正配置の観点から、除却を進めていくものである。 目標数値は伊東市公共施設等総合管理計画による。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		1 件	令和元年度	1	0	1	0			1
実績値										

実績値の計算方法	各施設主管課が実施した公共施設の除却件数を集計		
----------	-------------------------	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.14

基本目標	1 安全・安心な暮らしを守る
具体的な施策	⑥ 安全な水の安定供給

KPI	料金値上げ	指標担当部課	上下水道部 水道課
-----	-------	--------	-----------

設定根拠	「安全、安心でおいしい水を安定的に供給する」ため、老朽化施設の更新や耐震化等を推進し、施設の適正な維持管理に努めていくとともに、「おいしい水を安価に提供していく」ために、水道料金の収納率向上や経費削減等、より一層効率的な事業運営に努めることから、「料金値上げ」額を指標に設定し、計画期間中は料金改定を行わないことを目標とした。		
------	---	--	--

従前値	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		0 円	令和元年度	0	0	0			0
実績値									

実績値の計算方法	料金改定額
----------	-------

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.15

基本目標	1 安全・安心な暮らしを守る
具体的な施策	⑥ 安全な水の安定供給

KPI	有収率(家庭等で使用した水量を、浄水場等で作った水量で除したもの)	指標担当部課	上下水道部 水道課
-----	-----------------------------------	--------	-----------

設定根拠	「安全、安心でおいしい水を安定的に供給する」ためには、水利用の状況に応じた施設の効率的な運営が求められる。 有収率が低い場合は漏水の発生が考えられ、施設の稼働率が高くても収益につながらないため、有収率の向上対策を講ずる必要がある。 そのため有収率について、毎年度0.5%の向上を目指すことを目標とした。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		73.3 %	令和元年度	74.0	74.5	75.0	75.5			76.0
実績値										

実績値の計算方法	年間有収水量 ÷ 年間配水量 × 100% = 有収率									
----------	-----------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価	評価の理由									
----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.16

基本目標	1 安全・安心な暮らしを守る
具体的な施策	⑥ 安全な水の安定供給

KPI	重要給水施設の耐震化率	指標担当部課	上下水道部 水道課
-----	-------------	--------	-----------

設定根拠	「災害に強いライフラインづくり」のため、施設の耐震化を進めていく。 特に避難所、学校及び医療施設等の重要給水施設の災害時の断水を防止するため、これらの施設へ配水している管路の耐震化を優先的に進めていくため。計画的に事業を進めることにより、計画最終年度には78%の耐震化率を達成することを目標とした。		
------	--	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		57.5 %	令和元年度	62.4	66.3	70.2	74.1	78.0		78.0 %
実績値										

実績値の計算方法	耐震化済管路延長 ÷ 重要給水施設全管路延長 × 100 = 耐震化率									
----------	-------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価	評価の理由									
----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.17-1

基本目標	1 安全・安心な暮らしを守る
具体的な施策	⑦ 生活排水対策の充実

KPI	下水道管きよの長寿命化実施率	指標担当部課	上下水道部 下水道課
-----	----------------	--------	------------

設定根拠	市民生活の安心・安全を図るため、適正な汚水処理を継続する必要がある、膨大な下水道施設を効率的に維持管理するため「伊東市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、新たに令和3年度から令和7年度までの5年間分の管路施設の改築計画を策定したので、引き続き長寿命化を実施する。 5年間で目標値を達成するよう、計画的に実施する。		
------	--	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		0 %	令和元年度	20	40	60	80			100
実績値										

実績値の計算方法	$\text{長寿命化実施累積管路延長(m)} \div \text{長寿命化計画管路延長(m)} \times 100$		
----------	---	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.17-2

基本目標	1 安全・安心な暮らしを守る
具体的な施策	⑦ 生活排水対策の充実

KPI	マンホールトイレの累積設置箇所数	指標担当部課	上下水道部 下水道課
-----	------------------	--------	------------

設定根拠	下水道施設の耐震化には、多額の事業費と長期の整備期間を要するので、令和5年度までを計画期間とする「伊東市下水道総合地震対策計画」に基づき、減災の観点から広域避難場所等にマンホールトイレの設置を促進し、被災後の衛生環境を改善する。		
------	--	--	--

従前値	基準年度		R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
	令和元年度	令和2年度								
0 か所	令和元年度	令和2年度	2	2	1	0	0	5(5か年累計) か所		令和7年度
実績値										

実績値の計算方法	累積設置箇所数実績		
----------	-----------	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.18

基本目標	1 安全・安心な暮らしを守る
具体的な施策	⑦ 生活排水対策の充実

KPI	下水道処理施設の長寿命化及び耐震化の進捗率(水処理棟6池)	指標担当部課	上下水道部 下水道課
-----	-------------------------------	--------	------------

設定根拠	湯川終末処理場の水処理棟内にあるエアレーションタンク(6池)、最終沈殿池(6池)の内、半数の耐震診断を実施し耐震化を推進する。5年間で目標値を達成するよう、計画的に実施する。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		0 %	令和元年度	0	0	30	60	100		100 %
実績値										

実績値の計算方法	○池／6池＝○○%									
----------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価	評価の理由									
----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.19

基本目標	1 安全・安心な暮らしを守る
具体的な施策	⑦ 生活排水対策の充実

KPI	水洗化率	指標担当部課	上下水道部 下水道課
-----	------	--------	------------

設定根拠	公共水域の水質保全や生活環境の向上を図り、快適な市民生活を送るため「汚水、排水」の適切な処理が必要不可欠であり、このため、必要な環境整備を行うとともに、公共下水道の供用開始区域においては下水道への接続世帯を増やすことが求められるため5年間で目標値を達成するよう、計画的に実施する。		
------	--	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		82.8 %	令和元年度	85.2	86.4	87.6	88.8	90.0		90.0 %
実績値										

実績値の計算方法	下水道接続済世帯数/下水道整備済世帯数 × 100		
----------	---------------------------	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.20

基本目標	1 安全・安心な暮らしを守る
具体的な施策	⑧ 道路施設の長寿命化

KPI	舗装改良路線数	指標担当部課	建設部 建設課							
設定根拠	道路施設長寿命化修繕計画の基づき、道路施設の長寿命化を計画的に進め、適正な維持管理を図るため 目標値は、道路施設長寿命化修繕計画による。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
1 か所		令和元年度	1	1	1	1	1	5(5か年累計) か所		令和7年度
実績値										
実績値の計算方法	舗装改良の完了箇所数(1路線を2か年に分割して施工)									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.21

基本目標	1 安全・安心な暮らしを守る
具体的な施策	⑨ 橋りょうの長寿命化

KPI	修繕橋りょう数	指標担当部課	建設部 建設課
-----	---------	--------	---------

設定根拠	個別施設計画(橋梁)に基づき、橋りょう長寿命化を計画的に進め、近接目視による点検を行い、適正な維持管理を図るため目標値は、第十一次基本計画・実施計画と整合を図っている。		
------	--	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		2 橋	令和元年度	4	4	4	4	4		20(5か年累計) 橋
実績値										

実績値の計算方法	橋りょうの修繕完了数									
----------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価		評価の理由								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.22

基本目標	2 安定した雇用を創出する
具体的な施策	① 農業の担い手の育成・確保

KPI	新規就農者数	指標担当部課	観光経済部 産業課
-----	--------	--------	-----------

設定根拠	農業の担い手の育成・確保及び交流の推進を図るには、新規就農者数の増加が不可欠なため目標値については、平成27年度から令和元年度の実績から、年間4人増加するものとして算定。		
------	---	--	--

従前値	基準年度		R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
	6 人	令和元年度		4	4	4	4			4
実績値										

実績値の計算方法	新規就農者数実績		
----------	----------	--	--

評価		評価の理由	
----	--	-------	--

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.23

基本目標	2 安定した雇用を創出する
具体的な施策	② 地産地消の推進

KPI	飲食店における地魚取扱店舗数	指標担当部課	観光経済部 産業課						
設定根拠	1次産業から3次産業までの関係団体で水産業の6次産業化に取り組み、地魚の普及や販路拡大、情報の受発信体制(ホームページ)の構築やイベントを通して、地魚の高付加価値を創出し、水産業から地域の活性化につなげる「伊豆・いとう地魚王国事業」における地魚の取扱店舗数の実績(H29～R1)を考慮し、5店舗/年を目標値とした。								
従前値	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
3 店舗	令和元年度	5	5	5	5	5	25(5か年累計) 店舗		令和7年度
実績値									

実績値の計算方法	飲食店における地魚取扱店舗数								
評価	評価の理由								
課題									
今後の取組									

No.24

基本目標	2 安定した雇用を創出する
具体的な施策	② 地産地消の推進

KPI	6次産業化推進事業費補助金を利用した農業者数	指標担当部課	観光経済部 産業課
設定根拠	農業の6次産業化への取り組みを表す指標として、農産物の6次産業化の推進を図っている農業者に対し、商品開発や販路開拓に向けた費用を補助する「6次産業化推進事業費補助金」を利用した農業者の数が最適であると考えた。 目標値は、平成30年度、令和元年度の実績から年間3件とした。 ※6次産業化推進事業費補助金は、平成30年度から実施されている。		

従前値	基準年度					目標値	(単位)	目標年度
	R3	R4	R5	R6	R7			
4 件	令和元年度	3	3	3	3	3	15(5か年累計) 件	令和7年度
実績値								

実績値の計算方法	6次産業化推進事業費補助金を利用した農業者数実績		
評価		評価の理由	
課題			
今後の取組			

No.25

基本目標	2 安定した雇用を創出する
具体的な施策	③ 安定した漁業の推進

KPI	水揚数量	指標担当部課	観光経済部 産業課
-----	------	--------	-----------

設定根拠	持続可能な漁業活動を進めていくために、伊東魚市場における水揚高の過去動向を踏まえ、各年度とも現状値(端数調整後)の維持を目標としている。		
------	--	--	--

従前値	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
3,636 トン	令和元年度	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600 トン		令和7年度
実績値									

実績値の計算方法	伊東魚市場における年間水揚高
----------	----------------

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.26

基本目標	2 安定した雇用を創出する
具体的な施策	④ 地域の商業活性化

KPI	ブランド品目創出数	指標担当部課	観光経済部 産業課
-----	-----------	--------	-----------

設定根拠	未更新や製造中止などによる認定品目の減少を考慮の上、中長期的におおむね年間5品程度伊東ブランド認定品を増加させていくことが伊東ブランド認定品の付加価値の向上に最も効果的であると判断した。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		3 品目	令和元年度	5	5	5	5	5		25(5か年累計) 品目
実績値										

実績値の計算方法	各年度伊東ブランド認定実績件数		
----------	-----------------	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.27

基本目標	2 安定した雇用を創出する
具体的な施策	⑤ 商工業への支援体制強化

KPI	参加店舗の平均売上増加率					指標担当部課	観光経済部 産業課			
設定根拠	意欲ある個店を対象に適切な経営支援強化を行うことにより、売上の増加が図られると見込まれるため、伊東産活力創出事業の近年の実績における平均売上増加率を指標に設定した。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
3.5 %		令和元年度	4	4	4	4	4	4 %		令和7年度
実績値										

実績値の計算方法	伊東産活力創出事業実績									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.28

基本目標	2 安定した雇用を創出する
具体的な施策	⑥ 起業の促進

KPI	新規創業者数	指標担当部課	観光経済部 産業課
-----	--------	--------	-----------

設定根拠	起業促進策の効果を測る指標として、新規創業件数が最も適すると判断した。 年間の目標値については、平成29年度から令和元年度までの実績の平均数値の15件とした。		
------	--	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		12 件	令和元年度	15	15	15	15			15
実績値										

実績値の計算方法	起業支援及び空き店舗対策事業実績		
----------	------------------	--	--

評価		評価の理由	
----	--	-------	--

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.29

基本目標	2 安定した雇用を創出する
具体的な施策	⑦ 本市の特性に合った企業誘致

KPI	新規企業立地件数	指標担当部課	企画部 企画課							
設定根拠	本市の特性上、一団の工業団地を造成し、企業誘致を行うことは現実的ではない。代わりに、例えばIT関連等、本市の自然環境に影響がなく、都心や幹線道路から離れても事業運営に影響が出ない業種の法人等による企業立地件数を指標とした。各年度に1件以上の実績が出ることを目標とした。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
1 件		令和元年度	1	1	1	2	2	7(5か年累計) 件		令和7年度
実績値										

実績値の計算方法	指標担当部課に相談の上、企業立地が行われた件数		
評価		評価の理由	
課題			
今後の取組			

No.30

基本目標	2 安定した雇用を創出する
具体的な施策	⑧ 介護資格者の育成

KPI	基準緩和型サービス従事者研修受講者のうち、介護保険事業所に採用された人数	指標担当部課	健康福祉部 高齢者福祉課
-----	--------------------------------------	--------	--------------

設定根拠	令和元年度における介護保険事業所に採用された人数を基準とした。 毎年一定数を介護人材(介護資格者)として育成することにより、喫緊の課題である介護人材不足の解消を目指す。		
------	---	--	--

従前値	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		9 人	令和元年度	10	10	10			10
実績値									

実績値の計算方法	基準緩和型サービス従事者研修受講者のうち、就労希望者が提出した「個人情報提供書」に記載された情報を介護保険事業所に提供する。 年度末に、高齢者福祉課から介護保険事業所へ採用状況を確認し、実績値を取りまとめる。		
----------	---	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題

今後の取組

No.31

基本目標	2 安定した雇用を創出する
具体的な施策	⑨ 男女共同参画の推進

KPI	男女共同参画社会づくり宣言事業所数	指標担当部課	市民部 市民課
-----	-------------------	--------	---------

設定根拠	静岡県では「男女共同参画社会づくりに関する取組を宣言」する企業を「宣言事業所」として広くPRしている。 この宣言事業所が増加することで、従業員の子育てや介護、個性と能力の発揮、仕事と生活の調和など、男女共同参画社会づくりを推進する労働環境が整備されると考え指標とした。年間1事業所程度の増を目標とする。		
------	--	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		60 事業所	令和元年度	62	63	64	65			67
実績値										

実績値の計算方法	静岡県男女共同参画課が公表する「宣言事業所・団体一覧」に掲載された事業所及び団体の事業所数									
----------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価	評価の理由									
----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.32

基本目標	2 安定した雇用を創出する
具体的な施策	⑨ 男女共同参画の推進

KPI	市役所における指導的地位(係長相当職以上)に占める女性の割合	指標担当部課	企画部 秘書課							
設定根拠	市役所が市内企業に率先して、仕事と家庭を両立できる働きやすい職場環境の整備を進め、女性職員を積極的に登用することで、男女共同参画の推進を図るため 5年間で目標値を達成するよう実施する。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
32.7 %		令和2年度	33.1	33.5	34.0	34.5	35.0	35.0 %		令和7年度
実績値										
実績値の計算方法	指導的地位(係長相当職以上)の女性職員数 / 指導的地位(係長相当職以上)の全職員数 (各年度4月1日現在)									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.33

基本目標	2 安定した雇用を創出する
具体的な施策	⑨ 男女共同参画の推進

KPI	公的な会議等の場における女性の割合	指標担当部課	市民部 市民課
-----	-------------------	--------	---------

設定根拠	地方自治法第202条の3に規定される審議会等における女性委員等の割合を高めることで、女性の指導的地位が高まり、男女共同参画社会の実現に寄与するものと考え指標とした。 国の動向に合わせ、計画最終年度の目標値を30%に設定した。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		22.3 %	令和元年度	24.8	26.1	27.4	28.7			30.0
実績値										

実績値の計算方法	地方自治法(第202条の3)に基づく審議会等における女性委員数を委員総数で除したもの		
----------	--	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.34

基本目標	2 安定した雇用を創出する
具体的な施策	⑩ 障がい者雇用の促進

KPI	市内企業の障がい者雇用率	指標担当部課	健康福祉部 社会福祉課
設定根拠	令和3年4月に法定雇用率が2.3%に変更される。本市の実績は平成30年度が1.96%、令和元年度が2.02%となっている。その上昇率に近い0.05%を毎年度の上昇率と見込み、令和3年度を2.10%とし、令和7年度に目標達成を目指し、毎年度0.05%の上昇率とした。		

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		2.02 %	令和元年度	2.10	2.15	2.20	2.25			2.30
実績値										

実績値の計算方法 (障害者である労働者数+障害者である短時間労働者の数×0.5)÷(労働者の数+短時間労働者の数×0.5)
 (毎年5月にハローワーク伊東に前年度末の数値を報告してもらう。)

評価	評価の理由
----	-------

課題

今後の取組

No.35

基本目標	3 新しいひとの流れをつくる
具体的な施策	① 移住定住の促進・関係人口の拡大

KPI	移住者数(静岡県調査による。)	指標担当部課	企画部 企画課
設定根拠	幅広い世代の方の転入増加を図るため、就業、住宅、子育て・教育、医療・福祉、交流・体験、地域・市民団体との連携等の分野に積極的に取り組み、誰もが暮らしやすい魅力ある環境づくりを行うこととしている。この取組の成果を表す指標として移住者数がふさわしいと考え、毎年度100人とすることを目標とした。		

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		34 人	令和元年度	100	100	100	100			100
実績値										

実績値の計算方法	指標担当部課に来庁、電話、移住相談会等で相談があった件数のうち、実際に移住した人数を計測									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価		評価の理由								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.36

基本目標	3 新しいひとの流れをつくる
具体的な施策	① 移住定住の促進・関係人口の拡大

KPI	移住相談件数	指標担当部課	企画部 企画課
設定根拠	移住施策も含めた市の施策等をホームページ等で情報発信することにより、移住相談件数を徐々に増やしていき、移住者の増につなげていくため 年間20件ずつ増やし、計画最終年度には240件にすることを目標とした。		

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		140 件	令和元年度	160	180	200	220	240		240 件
実績値										

実績値の計算方法	指標担当部課に来庁、電話、移住相談会等で相談があった件数を計測
----------	---------------------------------

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.37

基本目標	3 新しいひとの流れをつくる
具体的な施策	① 移住定住の促進・関係人口の拡大

KPI	ふるさと納税の寄附件数	指標担当部課	企画部 企画課
-----	-------------	--------	---------

設定根拠	本市と継続的なつながりを持つ関係人口を拡大する指標として、本市に興味を持ち、ふるさと納税を行った件数がふさわしいと考えた。目標値については、従前値の約2倍の件数と設定した。		
------	--	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		5,477 件	令和元年度	6,600	7,700	8,800	9,900	11,000		11,000 件
実績値										

実績値の計算方法	ポータルサイト経由及び市へ直接ふるさと納税を行った件数		
----------	-----------------------------	--	--

評価		評価の理由	
----	--	-------	--

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.38

基本目標	3 新しいひとの流れをつくる
具体的な施策	② 交流人口の拡大（ア 外国人観光客の誘客推進）

KPI	外国人観光客の宿泊者数	指標担当部課	観光経済部 観光課
-----	-------------	--------	-----------

設定根拠	本市の認知度向上や誘客促進施策として実施しているデジタルマーケティングやトップセールス等のインバウンド施策については、交流人口の拡大はもちろんのこと、最も消費額の高い宿泊客増を最終目的とした施策であるため、外国人観光客の宿泊者数を指標に設定する。5年間で目標値に達成するよう、年度の目標値を設定する。		
------	--	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		73,750 人	令和元年度	80,000	90,000	100,000	110,000			120,000
実績値										

実績値の計算方法	伊東温泉旅館ホテル協同組合及び伊東観光協会加盟の宿泊施設からの報告数の合計		
----------	---------------------------------------	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.39

基本目標	3 新しいひとの流れをつくる
具体的な施策	② 交流人口の拡大（ア 外国人観光客の誘客推進）

KPI	観光案内所での外国人対応人数	指標担当部課	観光経済部 観光課							
設定根拠	本市の認知度向上や誘客促進施策として実施しているデジタルマーケティングやトップセールス等のインバウンド施策による交流人口が増加したことを図る指標として、本市の玄関口である伊東駅内にある伊東市観光案内所での外国人観光客対応人数を設定する。5年間で目標値に達成するように、年度の目標値を設定する。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
1,677 人		令和元年度	2,000	3,000	3,500	4,000	4,500	4,500 人		令和7年度
実績値										

実績値の計算方法	伊東市観光案内所によるカウント									
評価	評価の理由									
課題										
今後の取組										

No.40

基本目標	3 新しいひとの流れをつくる
具体的な施策	② 交流人口の拡大（ア 外国人観光客の誘客推進）

KPI	外国人対応ができる従業員又は翻訳機を配備している宿泊施設数の割合	指標担当部課	観光経済部 観光課							
設定根拠	交流人口拡大のために実施する誘客促進施策によって増加が見込まれる外国人観光客に対する受け入れ施設の整備は、並行して進めていく必要があるため、宿泊施設の外国人対応状況を指標として設定する。 5年間で目標値に達成するように、年度の目標値を設定する。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
48.9 %		平成30年度	69.0	76.0	83.0	90.0	97.0	97.0 %		令和7年度
実績値										

実績値の計算方法	伊東温泉旅館ホテル協同組合による会員への聞き取り調査で対応済みと答えた会員の割合									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.41

基本目標	3 新しいひとの流れをつくる
具体的な施策	② 交流人口の拡大（イ 本市の魅力の戦略的な発信）

KPI	観光客の満足度	指標担当部課	観光経済部 観光課
-----	---------	--------	-----------

設定根拠	交流人口の拡大を目的としたデジタル施策等により、本市を訪れた観光客の満足度を把握することは、施策の内容やターゲットの選定の方向性を確認する指標となるため、観光客の満足度を指標に設定する。 5年間で目標値に達成するように、年度の目標値を設定する。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		62.3 %	令和元年度	70.0	75.0	85.0	90.0			95.0
実績値										

実績値の計算方法	6月～2月にかけて観光客1,700人を対象に実施する伊東温泉観光実態調査の調査項目「伊東市全体への印象」で【非常に良い】【良い】と回答した人の割合		
----------	---	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.42

基本目標	3 新しいひとの流れをつくる
具体的な施策	② 交流人口の拡大（イ 本市の魅力の戦略的な発信）

KPI	県内観光客の割合	指標担当部課	観光経済部 観光課							
設定根拠	本市を訪れる観光客の約8割は関東圏からの来訪となっているが、社会情勢により来訪が困難になるケースも想定され、域内観光の拡大も視野に入れて情報発信を行っていく必要がある。本市が実施する情報発信が県内観光客の増加に繋がっているかを確認する指標として観光客全体における県内観光客の割合を指標として設定する。 5年間で目標値に達成するように、年度の目標値を設定する。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
7.9 %		令和元年度	7.0	9.0	11.0	13.0	15.0	15.0 %		令和7年度
実績値										
実績値の計算方法	6月～2月にかけて観光客1,700人を対象に実施する伊東温泉観光実態調査の調査項目「観光客の居住地」で【静岡県】と回答した人の割合									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.43

基本目標	3 新しいひとの流れをつくる
具体的な施策	② 交流人口の拡大（イ 本市の魅力の戦略的な発信）

KPI	伊豆・伊東観光ガイドのPV数	指標担当部課	観光経済部 観光課
-----	----------------	--------	-----------

設定根拠	令和元年度にフルリニューアルした本市観光の公式HP「伊豆・伊東観光ガイド」については、本市の情報発信の主軸となっている。このサイトの更新頻度を上げ新鮮な情報を発信し続けることで誘客促進に大きな効果があると考えため、サイトのPV数を指標として設定する。5年間で目標値に達成するように、年度の目標値を設定する。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		2,327,820 アクセス	令和元年度	2,800,000	3,100,000	3,400,000	3,700,000			4,000,000
実績値										

実績値の計算方法	Googleアナリティクスによる計測値		
----------	---------------------	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.44

基本目標	3 新しいひとの流れをつくる
具体的な施策	② 交流人口の拡大（イ 本市の魅力の戦略的な発信）

KPI	公式Instagramのフォロワー数	指標担当部課	観光経済部 観光課							
設定根拠	近年、旅行先決定のための情報取得ツールについては、旅行誌や観光情報サイト、楽天、Yahoo!トラベル等のOTAに加え、年齢層によってはInstagram、Facebook等のSNSから情報を取得する傾向がある。本市の情報発信についても、公式HP以外にSNSを活用しフォロワーを獲得していくことで、定量での情報発信が可能となるためSNSによる情報発信施策の進捗を図っていく指標としてフォロワー数を設定する。5年間で目標値に達成するように、年度の目標値を設定する。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
3,488 人		令和元年度	4,500	4,750	5,000	5,250	5,500	5,500 人		令和7年度
実績値										

実績値の計算方法	Instagramの伊東市公式アカウントフォロワー数									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.45

基本目標	3 新しいひとの流れをつくる
具体的な施策	② 交流人口の拡大（イ 本市の魅力の戦略的な発信）

KPI	温泉地ランキングの順位	指標担当部課	観光経済部 観光課
-----	-------------	--------	-----------

設定根拠	本市が実施する情報発信により、温泉地としてどのような評価を周りから受けているのかを確認するため、観光経済新聞が年1回、旅行会社社員などの”旅のプロ”にアンケートを取り集約する「にっぽんの温泉100選」ランキングの順位を指標とする。 5年間で目標値に達成するように、年度の目標値を設定する。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		67 位	令和元年度	45	40	35	30			25
実績値										

実績値の計算方法	観光経済新聞が実施する「にっぽんの温泉100選」ランキングを参照									
----------	----------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価	評価の理由									
----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.46

基本目標	3 新しいひとの流れをつくる
具体的な施策	② 交流人口の拡大（ウ 市内消費につながる周遊・滞在型観光の推進）

KPI	伊東での滞在日数(2泊以上の割合)	指標担当部課	観光経済部 観光課
設定根拠	市内での滞在時間を延ばし消費を促進させるために、本市が周遊・滞在型観光を推進するために実施している、滞在型リフレッシュリゾート推進事業や伊東温泉竹あかり等の施策の成果を図る指標として、本市で2泊以上宿泊する人(連泊)の割合を指標として設定する。5年間で目標値に達成するように、年度の目標値を設定する。		

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		19.0 %	令和元年度	21.0	22.0	23.0	24.0			25.0
実績値										

実績値の計算方法	6月～2月にかけて観光客1,700人を対象に実施する伊東温泉観光実態調査の調査項目「伊東での滞在日数」で【2泊3日】【3泊4日】【4泊以上】と回答した人の割合									
----------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題

今後の取組

No.47

基本目標	3 新しいひとの流れをつくる
具体的な施策	② 交流人口の拡大（ウ 市内消費につながる周遊・滞在型観光の推進）

KPI	日帰り客1人当たりの市内での総消費額	指標担当部課	観光経済部 観光課							
設定根拠	周遊・滞在型観光の定着を目指す本市について、宿泊客や日帰り観光客が長く本市に滞在し、多くの消費を生むことが目的であるため、日帰り客の消費額について、施策の進捗を図る指標として設定する。 5年間で目標値に達成するように、年度の目標値を設定する。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
7,238 円		令和元年度	8,000	9,000	10,000	11,000	12,000	12,000 円		令和7年度
実績値										

実績値の計算方法	6月～2月にかけて観光客1,700人を対象に実施する伊東温泉観光実態調査の調査項目「基本属性×総消費額」の【日帰り】の平均									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.48

基本目標	3 新しいひとの流れをつくる
具体的な施策	② 交流人口の拡大（ウ 市内消費につながる周遊・滞在型観光の推進）

KPI	宿泊客1人当たりの市内での総消費額	指標担当部課	観光経済部 観光課
設定根拠	周遊・滞在型観光の定着を目指す本市について、宿泊客や日帰り観光客が長く本市に滞在し、多くの消費を生むことが目的であるため、宿泊客の消費額について、施策の進捗を図る指標として設定する。 5年間で目標値に達成するように、年度の目標値を設定する。		

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		21,348 円	令和元年度	25,000	27,000	29,000	31,000			33,000
実績値										

実績値の計算方法	6月～2月にかけて観光客1,700人を対象に実施する伊東温泉観光実態調査の調査項目「基本属性×総消費額」の【1泊2日】【2泊3日】【3泊4日】【4泊以上】の平均
----------	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.49

基本目標	3 新しいひとの流れをつくる
具体的な施策	② 交流人口の拡大（ウ 市内消費につながる周遊・滞在型観光の推進）

KPI	再来遊意欲のある人の割合	指標担当部課	観光経済部 観光課							
設定根拠	周遊・滞在型観光を定着させ、消費を拡大していくには一見のお客様だけではなく、伊東のファンとなり、再来訪してくれるリピーターの存在が重要であるため、再来訪意欲のある人の割合を指標として設定する。 5年間で目標値に達成するように、年度の目標値を設定する。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
90.4 %		令和元年度	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0	95.0 %		令和7年度
実績値										

実績値の計算方法	6月～2月にかけて観光客1,700人を対象に実施する伊東温泉観光実態調査の調査項目「伊東市への再来訪意欲」									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.50

基本目標	3 新しいひとの流れをつくる
具体的な施策	③ 地域の商業活性化

KPI	にぎわいづくり事業等の利用団体数	指標担当部課	観光経済部 産業課
-----	------------------	--------	-----------

設定根拠	地域の商業活性化のためには、商店街等が直面する課題等を抽出し、創意工夫により実施するにぎわいづくり事業等を支援することで、魅力ある商店街の創出を図ることが必要であるため、数値は過去実績の平均利用団体数から設定した。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		3 団体	令和元年度	4	4	4	4	4		20(5か年累計) 団体
実績値										

実績値の計算方法	伊東市商業パワー全開事業実績		
----------	----------------	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.51

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
具体的な施策	① 子育て世帯の経済的支援の推進

KPI	出産・子育て支援に関する満足度	指標担当部課	健康福祉部 子育て支援課
-----	-----------------	--------	--------------

設定根拠	子育て世帯の経済的支援が充実していれば、満足度の向上に繋がっていくため満足度の従前値を考慮し、目標値を70%に設定し、徐々に目標値に近づけていくこととした。		
------	--	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		54.5 %	令和元年度	63.5	65	66.5	68			70
実績値										

実績値の計算方法	アンケート調査に基づく値		
----------	--------------	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.52

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
具体的な施策	② 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり

KPI	妊娠出産包括支援事業利用者数(延人数)	指標担当部課	健康福祉部 子育て支援課
-----	---------------------	--------	--------------

設定根拠	妊娠期から子育て期までの様々なニーズに対し、相談支援や専門的支援を充実することが、安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりにつながるため 従前の利用者数を考慮して目標値を設定し、徐々に近づけていくこととした。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		1,778 人	令和元年度	1,820	1,840	1,860	1,880	1,900		1,900 人
実績値										

実績値の計算方法	子育て世代包括支援センター、妊娠・出産包括支援事業の利用者数		
----------	--------------------------------	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題

今後の取組

No.53

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
具体的な施策	② 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり

KPI	乳幼児健康診査受診率	指標担当部課	健康福祉部 子育て支援課
-----	------------	--------	--------------

設定根拠	4か月児健診及び10か月児健診は厚生労働省が受診を推奨する健診であり、1歳6か月児健診及び3歳児健診は法定健診であることから、身体発育及び精神発達の面からも最も重要な時期である乳幼児に対して、総合的な健康診査を実施することが必要とされているため指標とした。年度目標値は、5年間で目標値に達成するよう設定した。		
------	--	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		95.8 %	令和元年度	96	97	98	99			100
実績値										

実績値の計算方法	4か月児健診、10か月児健診、1歳6か月児健診及び3歳児健診の受診率＝受診者数／対象者数		
----------	--	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.54

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
具体的な施策	③ 妊娠・出産のための健康づくりと正しい知識の普及

KPI	正しい知識についての普及率	指標担当部課	健康福祉部 子育て支援課
-----	---------------	--------	--------------

設定根拠	市内の中高生を対象に行うため、全体の校数に対する実施校数の割合を普及率とする。 年度目標値は、5年間で目標値に達成するよう設定した。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		44.4 %	令和元年度	44.4	55.6	71.4	85.7			100
実績値										

実績値の計算方法	実施校数(累積) ÷ 9(市内5中学、高校3、定時制高校1校)		
----------	---------------------------------	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題

今後の取組

No.55

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
具体的な施策	④ ひとり親家庭等の自立促進

KPI	ひとり親家庭等の相談割合	指標担当部課	健康福祉部 子育て支援課
-----	--------------	--------	--------------

設定根拠	相談割合が多いということは、ひとり親家庭において、自立したい家庭の自立への道筋を立てるとともに、自立への意識の向上にもつながるため 年度目標値は、5年間で目標値に達成するよう設定した。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		10.8 %	令和元年度	12.0	13.0	14.0	15.0			16.0
実績値										

実績値の計算方法	相談件数実績値 / 児童扶養手当全部支給者・一部支給者数									
----------	------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価		評価の理由	
----	--	-------	--

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.56

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
具体的な施策	⑤ 子育てにおける相互援助活動の推進

KPI	ファミリー・サポート・センター登録会員数	指標担当部課	健康福祉部 子育て支援課
-----	----------------------	--------	--------------

設定根拠	ファミリー・サポート・センターは、子育てを地域で相互援助する手伝いをする組織であるので、会員数が増えることが事業の充実につながっていくため 基準年度における事業の実施状況及びその後の実績値等を踏まえ、目標値を480人に設定した。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		287 人	令和元年度	360	390	420	450	480		480 人
実績値										

実績値の計算方法	実際に登録している件数									
----------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価	評価の理由									
----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.57

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
具体的な施策	⑥ 子どもの居場所の場の提供

KPI	児童館年間利用者割合	指標担当部課	健康福祉部 子育て支援課
-----	------------	--------	--------------

設定根拠	利用者が増えることによって、親子のふれあいの場が増えると考え、児童館年間利用者割合を指標に設定した。 基準年度における利用状況を踏まえ、最終年度の目標値を25.0%に設定した。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		19.9 %	令和元年度	17.0	20.5	22.0	23.5	25.0		25.0 %
実績値										

実績値の計算方法	利用者数実績 / 住民基本台帳人口(3月末時点)		
----------	--------------------------	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.58

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
具体的な施策	⑥ 子どもの居場所の場の提供

KPI	子ども食堂実施箇所数	指標担当部課	健康福祉部 子育て支援課
-----	------------	--------	--------------

設定根拠	子どもが一人でも立ち寄ることができる「子ども食堂」が増加することで、地域の大人とのつながりができ、地域における見守り機能を持つ子どもの居場所の提供ができると考え設定した。 基準年度における実績値を踏まえ最終年度の目標値を10か所に設定した。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		6 箇所	令和元年度	6	7	8	9			10
実績値										

実績値の計算方法	子どもの居場所づくり事業において実施している箇所数
----------	---------------------------

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.59

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
具体的な施策	⑦ 保育・幼稚園教育の充実（ア 待機児童対策の推進）

KPI	待機児童数	指標担当部課	教育部 幼児教育課
-----	-------	--------	-----------

設定根拠	就労しながら安心して子育てができる環境を示す値として、待機児童数の削減が最も適すると思われるため令和4年度以降は0人にすることを目標とした。		
------	--	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		5 人	令和2年度	2	0	0	0	0		0 人
実績値										

実績値の計算方法	各年度4月1日現在の保育所等待機児童数		
----------	---------------------	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.60

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
具体的な施策	⑦ 保育・幼稚園教育の充実（イ 多様な保育事業の推進）

KPI	多様な保育への満足度	指標担当部課	教育部 幼児教育課
-----	------------	--------	-----------

設定根拠	多様な保育事業が子育て世帯が望むような状況になっているかを示す値であるため 保育士や看護師の確保状況や施設の状況も踏まえ、目標値は保護者アンケートの結果に基づく満足度95%に設定した。 年度目標値は、5年間で目標値に達成するよう設定した。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		86 %	令和元年度	87	89	91	93			95
実績値										

実績値の計算方法	保護者アンケートに基づく値		
----------	---------------	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題

今後の取組

No.61

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
具体的な施策	⑦ 保育・幼稚園教育の充実（ウ 保育及び幼児教育の充実）

KPI	園での生活に満足している保護者の割合	指標担当部課	教育部 幼児教育課
-----	--------------------	--------	-----------

設定根拠	働く保護者にとって、子どもを安心して預けられる園運営ができているかを示す値であるため保護者アンケートの結果を基に目標値を設定した。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		99 %	令和元年度	99	99	99	99	100		100 %
実績値										

実績値の計算方法	保護者アンケートに基づく値		
----------	---------------	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題

今後の取組

No.62

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
具体的な施策	⑦ 保育・幼稚園教育の充実（エ 情報提供及び相談体制の充実）

KPI	子育て支援への満足度	指標担当部課	教育部 幼児教育課
-----	------------	--------	-----------

設定根拠	子育てに必要な情報の提供、相談体制の充実が図れているかを示す値であるため 保護者アンケートの結果を基に目標値を設定した。 年度目標値は、5年間で目標値に達成するよう設定した。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		73 %	令和元年度	76	77	78	79	80		80 %
実績値										

実績値の計算方法	保護者アンケートに基づく値		
----------	---------------	--	--

評価		評価の理由	
----	--	-------	--

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.63

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
具体的な施策	⑦ 保育・幼稚園教育の充実（オ 保育園及び幼稚園のあり方の策定）

KPI	認定こども園の施設数	指標担当部課	教育部 幼児教育課
設定根拠	施策を示す値であるため。現状、認定こども園は市内にはなく、施設整備には年数を要するため、計画最終年度に2園を目標とした。		

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		0 園	令和2年度	1	1	1	1			2
実績値										

実績値の計算方法	認定こども園数									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No. 64

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
具体的な施策	⑧ 学校における教育環境の整備

KPI	児童生徒1人当たりの教育用コンピュータ数	指標担当部課	教育部 教育総務課
-----	----------------------	--------	-----------

設定根拠	国が推進するGIGAスクール構想における児童生徒1人1台端末を目標値とした。 ※GIGAスクール構想・・・1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		0.16 台	令和元年度	1	1	1	1			1
実績値										

実績値の計算方法	児童生徒が使用する学習者用コンピュータ(GIGAスクール端末)数を児童生徒数で割った台数									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価	評価の理由									
----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No. 65

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
具体的な施策	⑨ 個に応じた教育的支援の充実

KPI	学校が楽しいと思う子どもの割合	指標担当部課	教育部 教育指導課
設定根拠	子どもたち一人一人を大切にし、どの子どもも生き生きと活動する学校を目指していることから設定した。 目標値及び年度目標値は従前値を踏まえ、徐々に上げていくことで設定した。		

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		(小学校)88.6 % (中学校)83.6 %	令和元年度	90.2 86.0	91.5 87.0	92.7 88.0	94.0 89.0			95.0 90.0
実績値										

実績値の計算方法	児童生徒を対象とした学校評価(学校生活アンケート)において、「学校が楽しいですか」との質問に対し、「かなり当てはまる」「まあ当てはまる」と回答した児童生徒の割合
----------	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.66

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
具体的な施策	⑩ 地区青少年健全育成活動の活発化

KPI	小・中・高生1人当たりの地域学校協働活動への参加回数					指標担当部課	教育部 生涯学習課			
設定根拠	令和7年度にかけて市内小・中・高生の人数が1,000人以上減少(令和元年度:5,669人⇒令和7年度:4,565人)する見込みの中で、地域学校協働活動への延べ参加者数を維持することにより、小・中・高生1人当たりの地域学校協働活動への参加回数増を目指す。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
1.35 回		令和元年度	1.43	1.49	1.55	1.61	1.68	1.68 回		令和7年度
実績値										
実績値の計算方法	地域学校協働活動(①あいさつ運動(一斉活動)、②放課後子ども教室、③ふるさと教室、④夢チャレンジくらぶ等)への延べ参加者数／伊東市における小・中・高生の人口									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.67

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
具体的な施策	⑩ 地区青少年健全育成活動の活発化

KPI	善行賞の被表彰者数	指標担当部課	教育部 生涯学習課							
設定根拠	令和7年度にかけて市内小・中・高生の人数が1,000人以上減少(令和元年度:5,669人⇒令和7年度:4,565人)する見込みの中で、善行賞個人賞及び伝統文化継承活動の被表彰者数は年3人の増加を見込み、善行賞団体賞の被表彰者団体数は、維持を見込んでいる。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
62人 7団体		令和元年度	68 7	71 7	74 7	77 7	80 7	80人 7団体		令和7年度
実績値										
実績値の計算方法	善行賞個人賞及び伝統文化継承活動の被表彰者数 善行賞団体賞の被表彰団体数									
評価	評価の理由									
課題										
今後の取組										

No.68

基本目標	4 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
具体的な施策	⑪ 地域における居場所づくりの推進

KPI	放課後子ども教室への参加延べ人数					指標担当部課	教育部 生涯学習課			
設定根拠	令和7年度にかけて市内小・中・高生の人数が1,000人以上減少(令和元年度:5,669人⇒令和7年度:4,565人)する見込みの中で、地域の協力を得て子どもたちの活動拠点(居場所)を確保するとともに、様々な体験活動や地域住民との交流活動等を促進するため、放課後子ども教室への延べ参加人数の維持を見込んでいる。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
4,294 人		令和元年度	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300 人		令和7年度
実績値										
実績値の計算方法	放課後子ども教室への参加延べ人数									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.69

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	① 健康づくりの推進（ア 生活習慣病予防とがんの早期発見）

KPI	全ての死因における対県比標準化死亡比	指標担当部課	健康福祉部 健康推進課
設定根拠	年齢構成の異なる地域間で、より正しく死亡状況の比較が出来るため。計画最終年度に県平均まで低下することを目標とした。		

従前値	(単位)	基準年度					目標値	(単位)	目標年度
		R3	R4	R5	R6	R7			
男性111.4 女性108.2		平成25年～29年	男性109.12 女性106.56	男性106.84 女性104.92	男性104.56 女性103.28	男性102.28 女性101.64	男性100.0 女性100.0		平成29年～令和3年
実績値									

実績値の計算方法	<ul style="list-style-type: none"> ・過去5年分の人口と死亡状況を用い、単年の結果のみに影響されない値としている。 ・県を100とし、死亡数が多いほど高い数値となる。 <p>静岡県を標準としたSMR(標準化死亡比) = $\frac{\text{市町の5年間(死因別)死亡数}}{\text{(静岡県の5年間粗死亡率} \times \text{市町の5年間該当年齢階級別人口)の総和}} \times 100$</p>								
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題

今後の取組

No.70

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	① 健康づくりの推進 (イ 歯科口腔衛生の充実)

KPI	歯科衛生教育年間延べ実施者数	指標担当部課	健康福祉部 健康推進課
-----	----------------	--------	-------------

設定根拠	早い時期から定期的に歯科健康教育を行うことで、虫歯や歯周病を予防し、市民の健康増進を図るため 基準年度における事業実施者数を踏まえ、目標値を4,000人に設定した。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		3,709 人	令和元年度	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000		4,000 人
実績値										

実績値の計算方法	各種検診、健康教室等の実績		
----------	---------------	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.71

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	① 健康づくりの推進（ウ 地域内の医療連携の推進）

KPI	伊東市民病院紹介率・逆紹介率	指標担当部課	健康福祉部 健康推進課
-----	----------------	--------	-------------

設定根拠	地域医療支援病院としての承認継続には、紹介率、逆紹介率の基準を満たす必要があるため (※地域医療支援病院の承認要件 ①紹介率80.0%以上 ②紹介率65.0%以上、逆紹介率40.0%以上 ③紹介率50.0%以上、逆紹介率70.0%以上のいずれかを満たす。)		
------	--	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		令和元年度	要件達成	要件達成	要件達成	要件達成	要件達成	地域医療支援病院の承認要件を満たす		令和7年度
実績値										

実績値の計算方法	伊東市民病院紹介率・逆紹介率の実績値(年度平均)									
----------	--------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価		評価の理由								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.72

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	① 健康づくりの推進（エ 生きがいつくり・介護予防の推進）

KPI	元気な高齢者の割合	指標担当部課	健康福祉部 高齢者福祉課							
設定根拠	引きこもりがちな高齢者の社会参画を促すため、居場所づくりや介護予防の推進を図るとともに、高齢者の活躍の場も提供し、元気に生活する高齢者の増加を目指す。 本市は、令和3年度が高齢者人口のピークと推計され、以降は高齢者の中での高齢化が進むため、要介護認定者の増加が見込まれるが、介護予防の取組等を一層推進し、要介護認定を受けていない高齢者の割合を維持することを目指し、84%という目標値を設定した。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
84.1 %		令和元年度	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0 %		令和7年度
実績値										
実績値の計算方法	介護保険第1号被保険者から要介護・要支援の認定を受けている高齢者の割合を引くことにより算出									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.73

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	① 健康づくりの推進（オ 介護人材の育成）

KPI	生活支援サポーターの養成者数					指標担当部課	健康福祉部 高齢者福祉課			
設定根拠	平成28年から生活支援サポーター養成講座を定期的を開催し、令和2年度までに約220人の生活支援サポーターを養成しているが、現状のサービス利用状況を今後の生活支援体制備事業の充実や高齢化に伴うニーズの増加を勘案した結果、さらに年平均40人を養成することで、地域の支え合いの基盤整備に必要な生活支援サポーターが充足すると考えられるため									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
45 人		令和元年度	40	40	40	40	40	200(5か年累計) 人		令和7年度
実績値										
実績値の計算方法	年3回の開催を予定する生活支援サポーター養成講座の受講者数を合計する。									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.74

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	① 健康づくりの推進（カ 介護が必要な高齢者への支援）

KPI	地域ケア会議の開催回数	指標担当部課	健康福祉部 高齢者福祉課
-----	-------------	--------	--------------

設定根拠	地域包括支援センターが主体となって開催する地域ケア会議には、困難事例の課題解決を目的としたものと、困難事例を積み重ねた結果、地域課題を抽出することを目的としたものがあるが、困難事例は年度によって増減があるため、目標値としては、地域課題の抽出を目的とした地域ケア会議を圏域ごとに年2回以上、5年間で70回開催するよう設定し、きめ細かい支援の実現を図る。 加えて、本市が主体となって開催する自立支援型地域ケア会議の開催を年1回、5年間で5回を見込んだ。		
------	---	--	--

従前値	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		15 回	令和元年度	11	13	15			17
実績値									

実績値の計算方法	各地域包括支援センターが開催する地域ケア会議の開催数と、本市が主体となって開催する自立支援型地域ケア会議の合計値 なお、従前値には困難事例の課題解決を目的とした会議が12回含まれている。
----------	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.75

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	① 健康づくりの推進（キ 在宅医療・介護連携の推進）

KPI	医療・介護関係の多職種が合同で参加する研修会等の開催回数	指標担当部課	健康福祉部 高齢者福祉課
設定根拠	地域包括ケアシステムの構築において、医療・介護等に携わる多職種が共通の認識を持ち、それぞれの役割に取り組むためには、情報共有と顔の見える関係づくりは欠かすことができないことから、おおむね半年に1回の開催を行うものとして設定した。		

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		令和元年度	2	2	2	2	2			10(5か年累計)回
実績値										

実績値の計算方法	在宅医療・介護連携を目的とした多職種連携研修会の開催数									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.76

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	② 生涯学習活動の推進（ア 市民の自主的な生涯学習活動の推進）

KPI	市民1人当たりの生涯学習活動の参加回数	指標担当部課	教育部 生涯学習課							
設定根拠	生涯学習活動の参加回数が当該施策推進の指標の一つになる。令和7年度にかけて人口減少を見込む中、生涯学習センター及びコミュニティセンターの利用回数について、年1,000回の増を目指している。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
3.08 回		令和元年度	3.16	3.19	3.23	3.27	3.31	3.31 回		令和7年度
実績値										
実績値の計算方法	生涯学習センター及びコミュニティセンターで実施した生涯学習活動の年間参加者延べ人数/伊東市人口									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.77

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	② 生涯学習活動の推進（イ 生涯学習機会の提供）

KPI	中央会館・ひぐらし会館に登録している団体数	指標担当部課	教育部 生涯学習課
設定根拠	近年、いでゆ大学や市民大学を始めとする生涯学習課主催事業の受講者が新たにサークル等を設立し、学びを継続するケースが多くある事から、当該指標が生涯学習活動推進の指標の一つになると思料する。令和7年度にかけて人口減少を見込む中、年30団体の増加を目指している。		

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		令和元年度	1,160	1,190	1,220	1,250	1,280			1,280 団体
実績値										

実績値の計算方法	生涯学習センター中央会館及びひぐらし会館における登録団体数(社会教育団体+その他団体-減免団体)									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価		評価の理由								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.78

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	② 生涯学習活動の推進（ウ 魅力ある図書館の構築）

KPI	市民1人当たりの図書貸出冊数	指標担当部課	教育部 生涯学習課
-----	----------------	--------	-----------

設定根拠	時勢・トレンドを反映した選書を行い、より多くの方に本を借りていただく事により、魅力ある図書館の構築につながる事から、当該項目を指標に設定する。毎年500人の人口減を想定する中、総貸出数については、新図書館の開館に向けた令和5年度までは毎年度1,000冊、開館年度となる令和6年度は20,000冊、令和7年度は30,000冊増やすことを目標とし、以下数値を設定		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度					目標値	(単位)	目標年度
		R3	R4	R5	R6	R7			
2.81 冊		令和元年度	2.88	2.92	2.95	3.28	3.76	3.76 冊	令和7年度
実績値									

実績値の計算方法	年間の総貸出数／伊東市人口		
----------	---------------	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題	
----	--

今後の取組	
-------	--

No.79

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	② 生涯学習活動の推進（ウ 魅力ある図書館の構築）

KPI	図書館におけるイベント・企画展実施数	指標担当部課	教育部 生涯学習課
設定根拠	図書館におけるイベント・企画展実施数は、図書館の魅力をどれだけ市民(利用者)に伝えているかの一つの指標となり、魅力ある図書館の構築につながることから、当該指標として設定する。年2回程度の増加を目指しつつ、新図書館が竣工する令和6年度は4回増、その後、令和7年度には10回増を見込んでいる。		

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		38 回	令和元年度	42	44	46	50			60
実績値										

実績値の計算方法	図書館におけるイベント・企画展の実施数									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.80

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	② 生涯学習活動の推進（エ 新図書館建設による図書館機能の充実及び新規利用者等の確保）

KPI	図書館における蔵書数	指標担当部課	教育部 生涯学習課
設定根拠	図書館における蔵書数は、機能の充実に係る一つの指標であり、新図書館建設を契機に蔵書を増加し、図書館機能の充実を図ることを目標に指標を設定する。なお、年10,000冊程度の増加を目指し、新図書館がオープンする令和6年度には、40,000冊増、令和7年度には43,000冊増を見込んでいる。		

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		206,704 冊	令和元年度	230,000	240,000	250,000	290,000			333,000
実績値										

実績値の計算方法	図書館の蔵書数									
----------	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価		評価の理由								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.81

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	② 生涯学習活動の推進 (エ 新図書館建設による図書館機能の充実及び新規利用者等の確保)

KPI	図書館を利用している人の割合	指標担当部課	教育部 生涯学習課
設定根拠	新図書館建設による新規利用者等の確保に向け、市民満足度調査における利用割合を指標として設定する。毎年500人の人口減を見込む中、令和5年度までは毎年50人の増加を目指し、新図書館竣工予定の令和6年度は1,500人、令和7年度は3,000人の増加を目標とする。		

従前値	(単位)	基準年度					目標値	(単位)	目標年度
		R3	R4	R5	R6	R7			
38.4 %		令和元年度	39.1	39.5	39.9	42.4	47.3	47.3 %	令和7年度
実績値									

実績値の計算方法	市民満足度調査における図書館を利用している人の割合								
----------	---------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

評価		評価の理由							
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--

課題									
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.82

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	③ 市民スポーツ活動の推進（ア スポーツ団体の支援）

KPI	体育協会加盟団体数					指標担当部課	教育部 生涯学習課			
設定根拠	施設優先予約や市主催大会への参画に関しては協会への加盟が必須となる。また、協会に加盟することにより、市から競技団体参加希望者と団体のマッチングを行う等、円滑な連携が可能となる。近年の人口減少による影響も考慮し、現状維持を目標とした。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
26 団体		令和元年度	26	26	26	26	26	26 団体		令和7年度
実績値										
実績値の計算方法	伊東市体育協会への加盟団体数									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.83

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	③ 市民スポーツ活動の推進（イ 指導者養成の支援）

KPI	スポーツ推進委員数	指標担当部課	教育部 生涯学習課							
設定根拠	専門的技術指導のできるスポーツ推進委員を拡充することにより、年齢やレベルに応じた指導ができる指導者の養成を目指す。人口減少社会が到来し、高齢人口の増加が見込まれる中、市民の健康維持に向けた需要が拡大することを勘案し、目標値を現状より3人増の15人と設定した。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
12人		令和元年度	12	13	13	14	15	15人		令和7年度
実績値										
実績値の計算方法	スポーツ推進委員としての登録数									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.84

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	③ 市民スポーツ活動の推進（ウ 市民の健康維持及び体力向上）

KPI	スポーツ教室参加延べ人数	指標担当部課	教育部 生涯学習課
-----	--------------	--------	-----------

設定根拠	健康維持及び体力向上のため、より広く多くの市民に生涯スポーツへの参加を促す。体力や年齢階層に併せたスポーツ活動の手法としてニュースポーツ等の教室への参加者数を指針とした。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		8,979 人	令和元年度	9,100	9,200	9,300	9,400			9,500
実績値										

実績値の計算方法	各種スポーツ教室への年度末時点での延参加人数									
----------	------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価		評価の理由								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.85

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	④ 歴史・芸術文化の振興（ア 文化財の保護・保存）

KPI	指定文化財整備及び保護件数	指標担当部課	教育部 生涯学習課
-----	---------------	--------	-----------

設定根拠	文化財を保護・保存し、後世に伝えていく担い手である指定文化財所有者等と今後も連携し、補助制度を活用した整備及び保護に努める。新たな文化財指定については、文化財保護審議会で慎重な議論が必要であることから、5年間で2件の増加を目標とした。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		36 件	令和元年度	36	36	37	37			38
実績値										

実績値の計算方法	伊東市文化財等調査整備事業補助金及び指定文化財保護事業補助金交付件数									
----------	------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価		評価の理由								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.86

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	④ 歴史・芸術文化の振興（イ 歴史、芸術文化に触れる機会の提供）

KPI	歴史、芸術文化に関するイベントの来場者数及び施設入場者数の合計	指標担当部課	教育部 生涯学習課
-----	---------------------------------	--------	-----------

設定根拠	歴史、芸術文化に関するイベントの来場者数及び施設入場者数が増加することが、施策の指標になるため。5年間で約5%の増加を目標とした。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度					目標値	(単位)	目標年度
		R3	R4	R5	R6	R7			
18,016 人		令和元年度	18,210	18,420	18,630	18,840	19,000	19,000 人	令和7年度
実績値									

実績値の計算方法	芸術祭観客数、観光会館文化事業入場者数、いでゆ大学歴史講座参加者数等、イベントの来場者数。木下杢太郎記念館及び文化財管理センター入館者								
----------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

評価		評価の理由							
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--

課題									
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.87

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	④ 歴史・芸術文化の振興（ウ 芸術文化活動の支援）

KPI	文化協会加盟団体数	指標担当部課	教育部 生涯学習課
-----	-----------	--------	-----------

設定根拠	協会では芸術祭を始めとする全市的な文化事業を実施し、市民文化の向上に寄与している。近年の人口減少による影響も考慮し、1年につき1団体の増加を目標とした。		
------	--	--	--

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		78 団体	令和元年度	79	80	81	82			83
実績値										

実績値の計算方法	文化協会への加盟団体数									
----------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価		評価の理由								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.88

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	⑤ 国際交流の推進

KPI	国際交流に関する体験や行事に参加した割合	指標担当部課	企画部 秘書課
-----	----------------------	--------	---------

設定根拠	本市では、外国人と楽しく共生できる地域社会を形成していく上で、地域における国際交流を活発に推進していくことを重要施策とし、伊東国際交流協会を始め国際交流団体と連携・協力し、市民と外国人が気軽に触れ合うことができる場を提供しており、国際交流の推進を測る指標として、市民満足度調査の設問のうち、国際交流に関する体験や行事等に参加した割合を指標として設定した。令和元年度の値10.6%に対して、令和元年度回答「参加したことはないが、機会があれば参加したい」人の割合34.8%のうち約1割(3.4%)増の14%を目標に設定し、年次目標は、5年間で目標値に達成するように設定した。		
------	---	--	--

従前値	(単位)	基準年度					目標値	(単位)	目標年度
		R3	R4	R5	R6	R7			
10.6 %		令和元年度	11.6	12.2	12.8	13.4	14.0	14.0 %	令和7年度
実績値									

実績値の計算方法	市民満足度調査の「国際交流に関する体験や行事に参加したことがありますか。」という設問に対し、「よく参加している」又は「参加したことがある」と回答した人の割合		
----------	--	--	--

評価	評価の理由
----	-------

課題

今後の取組

No.89

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	⑤ 国際交流の推進

KPI	日本語教室受講者数	指標担当部課	企画部 秘書課							
設定根拠	外国人人口は、平成28年3月末460人、令和2年3月末658人で、約1.4倍増加していることから、日本語教室受講者数(延べ人数)は、令和元年度実績958人から、外国人人口と同程度の増加を見込む中で、1,300人とし、年次目標は、5年間で目標値に達成するように設定した。									
従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
958 人		令和元年度	1,072	1,129	1,186	1,243	1,300	1,300 人		令和7年度
実績値										
実績値の計算方法	日本語教室受講者数									
評価		評価の理由								
課題										
今後の取組										

No.90

基本目標	5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する
具体的な施策	⑥ 地域活動・市民活動への支援

KPI	まちづくり事業又は文化振興事業実施団体数	指標担当部課	企画部 秘書課・企画課
設定根拠	本市では、自治会等及び市民活動団体が自ら企画し実践するまちづくり事業に要する経費に対して補助金を交付することで、地域活動・市民活動を支援し、市民主体のまちづくりや地域活性化を推進していることから、まちづくり事業又は文化振興事業実施団体数を指標とする。 5年間で6件の増を目標とした。		

従前値	(単位)	基準年度	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	(単位)	目標年度
		56 団体	令和元年度	58	59	60	61			62
実績値										

実績値の計算方法	「伊東市魅力あるまちづくり事業補助金交付要綱」に基づく、まちづくり事業又は文化振興事業実施団体数									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価	評価の理由									
----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

課題										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の取組										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--